



# 梅の香だより

令和7年6月4日  
ねづやま夢の学び舎  
世田谷区立梅丘中学校  
校長 石綿 健一郎  
令和7年度 第3号

## 完全笑利～体育祭を終えて～

体育祭では、生徒の皆さんがあつらう活躍を見せてくれました。準備体操に始まり、長距離走、100m走と最後まで走り切る姿、応援の声。続く学年種目や全員リレーでは、学級対抗で練習の成果を競い合いました。

昼の休憩を挟み、午後は応援合戦から始まります。日本女子体育大学附属二階堂高等学校ダンス部からのご指導をいただいた各団の応援ダンスの発表は圧巻でした。学級ごとに息を合わせて跳び続けた大縄跳び、代表選手の好走に盛り上がりも最高潮となった学級対抗選抜リレー、どの競技でも生徒の皆さんの真剣な姿、励まし合い、称え合う姿、協同する姿を見ることができました。

当日の皆さん一人ひとりの活躍はもちろんですが、練習の段階から体育祭全体を支えた実行委員、応援団、各係の活動があったからこそ、当日の成功があったのだと思います。そして、当日は保護者の方を始め、地域の方々が応援に駆けつけてくださいました。多くの人たちに支えられての行事となっていましたことを実感できたのではないかと思います。行事を経て得たもの、気づいたことをこれから的生活に、ぜひ生かしていってください。

さて、「笑」という漢字の成り立ちを調べてみると、この字は象形文字でもともとは人の踊る姿を表していたそうです（諸説あります）。竹冠の部分は竹ではなく、手を挙げている様子、または髪を表しているといわれています。応援合戦で見せたみなさんの姿にふさわしいと思いませんか。みんなのダンスに会場は笑顔と感動に包まれました。まさに『完全「笑」利』の達成ですね。

保護者の皆様、ご来賓・地域の皆様、おかげさまで令和7年度の体育祭を盛況のうちに開催することができました。当日、ご多用の中にもかかわらず、たくさんの方々にお運びいただき生徒たちへ温かい声援を送っていただきました。ありがとうございました。

体育祭での活動を経て、また一回り成長していく梅中生たちをこれからも見守っていますよう、お願いいたします。なお当日の体育祭の様子は学校HPでも紹介しています。ぜひご覧ください。



### 「体育祭」 体育祭実行委員長（生徒）

今年の体育祭スローガンは「完全笑利」。勝つことだけでなく、仲間と協力し、笑顔でやり切ることの大切さを表しました。当日は、どの団も全力で競技や応援に臨み、会場全体が熱気と笑顔に包まれました。準備の過程では悩むこともありましたが、仲間と助け合いながら最後までやり遂げることができ、大きな達成感を得られました。この体育祭で得た経験を、今後の学校生活にも生かしていきたいと思います。支えてくださった先生方や、全力で取り組んでくれた皆さんに心から感謝します。

### 「体育祭を終えて」 体育祭担当（教員）

当日まで天候の不安定さが懸念されておりましたが、令和7年度の体育祭を大きな事故もなく、予定通りに開催することができました。最後まで雨が降らないかと心配でしたが、結果として、生徒たちの体にとって過ごしやすい天候で、本当によかったです。

体育祭を目指すものはいろいろありますが、自分を含めて全員が「昨日よりも一步成長すること」を大きな目標としていました。日々競技や演技の練習をする中で着実に上達していく生徒の姿からはもちろん、うまくいかなくても励まし合ったり、時にはぶつかり悩んだりする姿から、この目標は達成されたと実感しています。他のクラスや他の学年に対しても懸命に応援したり拍手したりする人や、勢いを生み出すために全力で声を出す人、ついきつくなってしまった口調を素直に謝る人、言葉を選びながら仲間を鼓舞する人もたくさんいました。

全員が現時点で「体育祭で成長した」と思っているかはわかりません。ただ、成長のきっかけにすることはできます。それが体育祭の意味づけをし、価値をつくり出していけるようにしていきたいと思います。

至らない点もあったかと思いますが、保護者の皆様をはじめ、様々な方のご協力とご理解のもと、体育祭を終えることができました。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 「教育実習を終えて」 教育実習生

教育実習を通して私は教職員の先生方の団結力、生徒の主体的な行事に対する取り組みについて学ぶことができました。先生方は職員室でも常にコミュニケーションを多くとり、意見交換を行ったり、知識を出し合ったりして常に学ぶ姿勢を怠らない姿を目の当たりにし、学ばなければいけない部分ばかりだと感じました。

学級は一年間に所属しました。一年生は新しい環境にすぐ慣れていて、フレッシュさを残しつつ二年生・三年生の背中を見ながら成長していました。体育祭という大きな行事を終えて一層集団としての力が芽生えたと思います。

教育実習生としての三週間は長いようで短く、毎日が変化の連続で非常にわくわくが止まらない実習でした。これからもこの経験を糧に教員を目指して頑張っていきます！